

大企業における IT部門と事業部門の 「部門間連携」実態調査

はじめに

多くの日本企業では、業務やシステム、データの運用が

部門内で完結しているケースが少なくありません。

そのため、部門を跨いだ連携が十分に進んでいない状況が、

特に大企業で多く見受けられます。

このような状況のもと、サイボウズは従業員数1,000人以上に勤務する

大企業の係長以上の情報システム部門に在籍する人、

および情報システム業務に関与する人に対し、

部門間連携の現状・あるべき姿・課題について把握すべく、

Webアンケートを実施しました。

同調査では「部門間連携」の定義を

「IT部門と事業部門が課題を解決するために共同で実施する一連の業務プロセス」

と定義づけています。

サマリ

本調査では、回答企業の85%が部門間連携を重視しており、回答企業の90%において経営層が部門間連携に関心を寄せるも、実際に経営層が支援しているのは約半数であることが明らかとなった。部門間連携の具体的な取り組みでは、「セキュリティの強化支援」「全社・事業部門間のシステム間連携」の順に回答率が高い一方、必要と考えるも実施できていない取り組みの中で最も多いのは「データ活用」であった。IT部門との連携程度を部門別に見ると、「営業部門」が最も多く、最も少ないのは「法務部門」だった。また、IT部門が認識する主な課題は「人的リソース不足」や「ITリテラシーの差」といった人材面の課題が中心となっており、これらはCIOやCTOが在籍する企業ほど低くなる傾向傾向が見られた。

調査概要

調査方法

Webアンケートによる回答

調査対象

- 従業員数1,000人以上の企業に勤務する人
- 情報システム部門に在籍する人 / 情報システム業務に関与する人
- 係長以上の役職の人

※「ソフトウェア・情報サービス業」・「通信キャリア業」以外の業種

有効回答数

560社

調査期間

2025年7月4日 ~ 7月7日

目次

第1章 部門間連携に対する姿勢

- 1-1 部門間連携の重視度
- 1-2 経営層の姿勢
- 1-3 経営層による支援内容

第2章 部門間連携の取り組み状況

- 2-1 部門間連携の具体的な取り組み
- 2-2 「実際の取り組み」と「必要性の認識」とのギャップ
- 2-3 経営層の関与ごとの取り組み
- 2-4 部門別のIT部門との連携程度

第3章 部門間連携の課題

- 3-1 IT部門が感じている課題
- 3-2 IT部門が認識する「事業部門側が感じている課題」
- 3-3 CIO/CTO有無による課題の違い

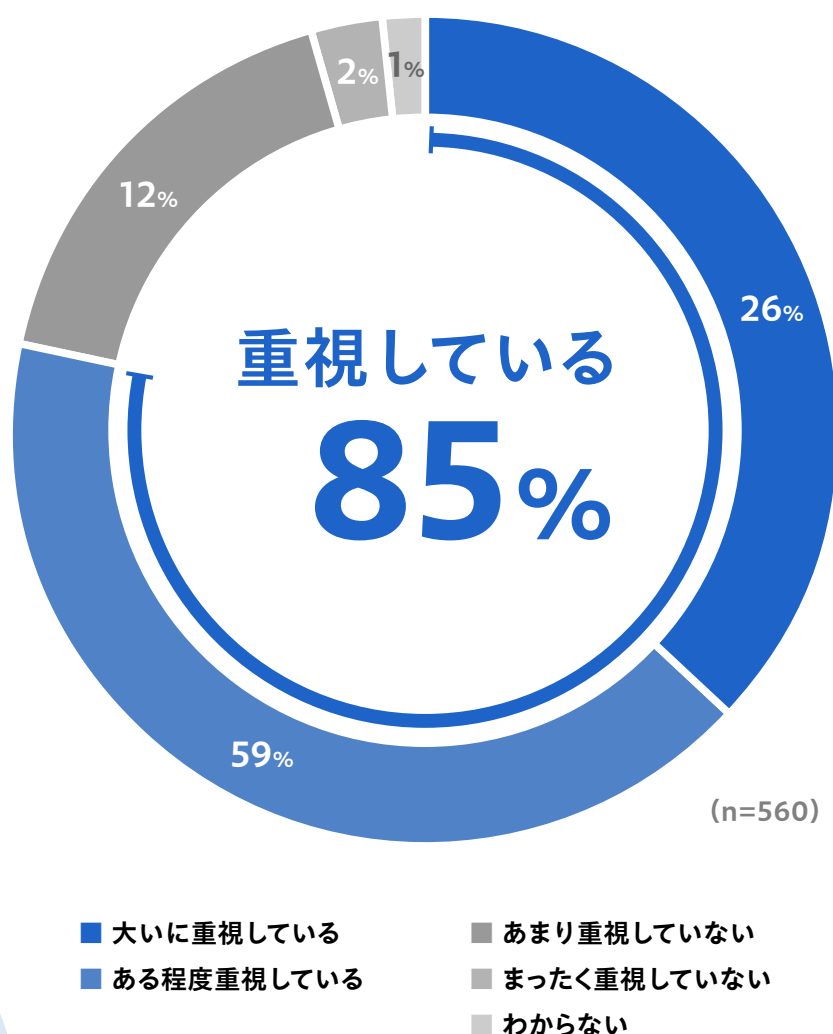
回答者属性

サイボウズについて

1-1 部門間連携の重視度

85%が部門間連携を重視

Q. あなたの会社では、IT戦略の推進において、IT部門と事業部門の連携をどの程度重視していますか。あてはまるものをひとつ選択してください。

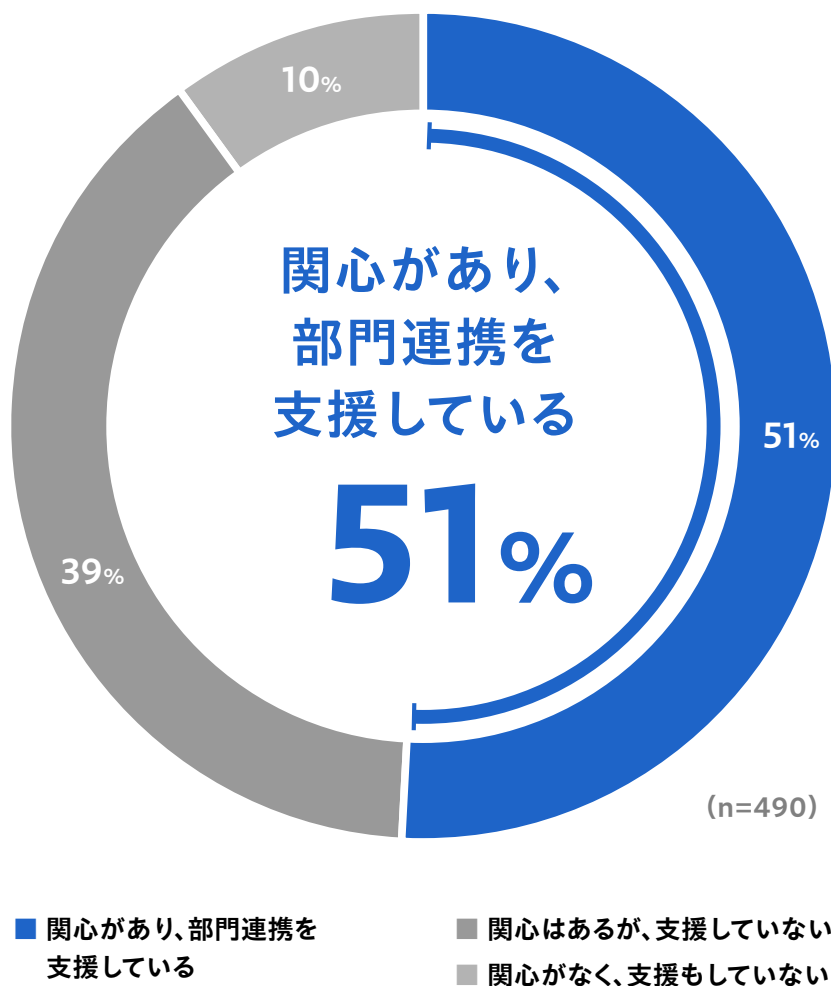


部門間連携の重視度を調べたところ、回答企業全体の26%が「大いに重視している」、59%が「ある程度重視している」と回答し、両者を合わせて85%に達した。

1-2 経営層の姿勢

企業の9割において経営層が部門間連携に関心を寄せるも、
実際に支援しているのは約半数

Q. 部門間連携に関する、経営層の姿勢はどのようなものかあてはまるものを
ひとつ選択してください。

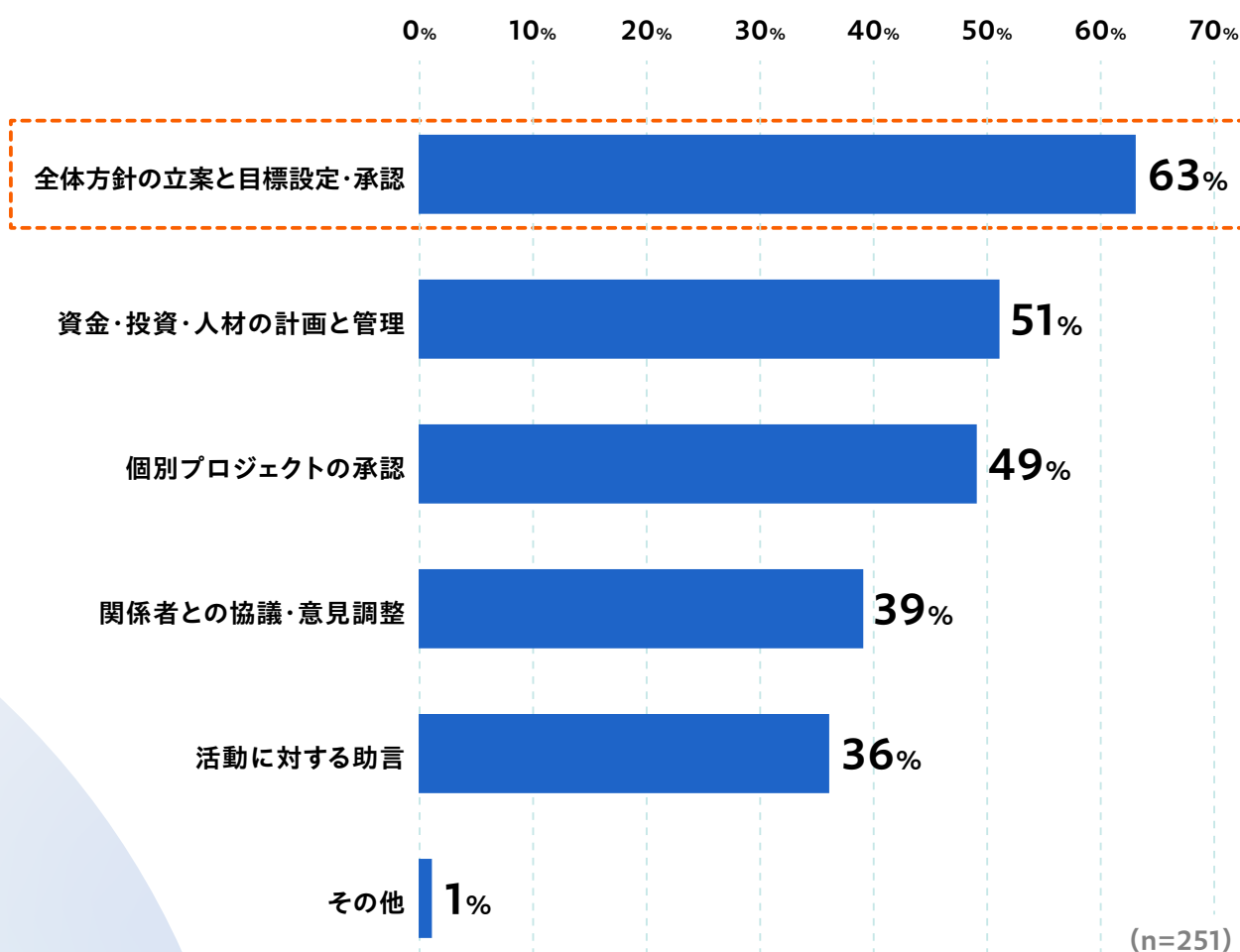


部門間連携における経営層の姿勢を見ると、51%が経営層は部門間連携に「関心があり、部門間連携を支援している」とし、「関心はあるが、支援していない」は39%であった。全体の90%において、経営層は部門間連携に関心を寄せる一方、実際に支援するのは半数に留まる結果となった。

1-3 経営層による支援内容

戦略的な方針策定から 実務的なプロジェクト承認まで多岐にわたる

Q. 部門間連携に関し、経営層はどのような支援を行っていますか。
あてはまるものをすべて選択してください。

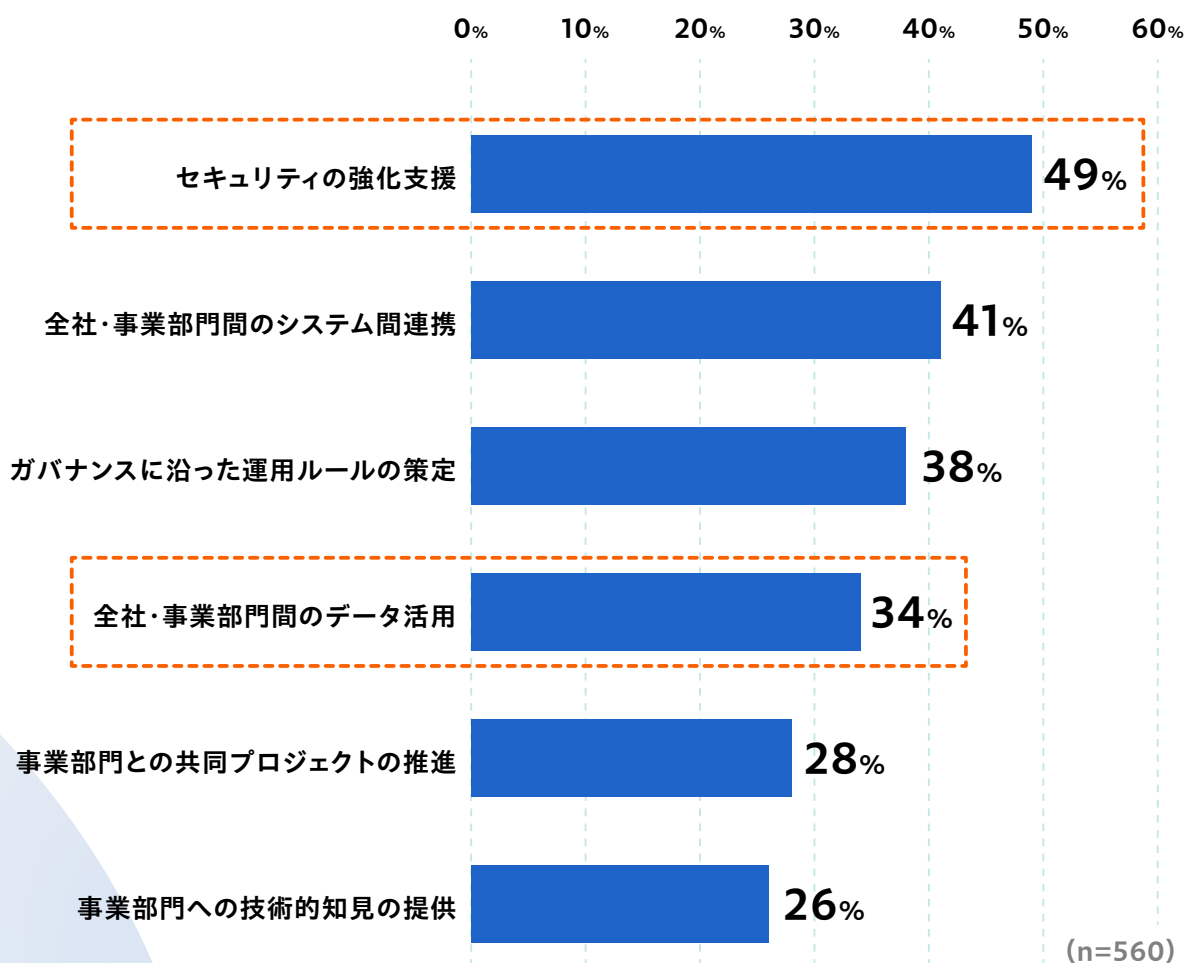


経営層が「支援している」と回答した51%を対象に支援内容を聞いたところ、「全体方針の立案と目標設定・承認」が63%と最も高く、以下「資金・投資・人材の計画・管理」が50%、「個別プロジェクトの承認」が49%と続いた。経営層の支援が、戦略的な意思決定から実務的なプロジェクト運営まで幅広く及んでいることが分かった。

2-1 部門間連携の具体的な取り組み

セキュリティ強化が最も多く、データ活用は課題として残る

Q. IT部門と事業部門との連携について、あなたの会社で行っている取り組みであてはまるものを選択してください。(最大3個まで選択できます。)

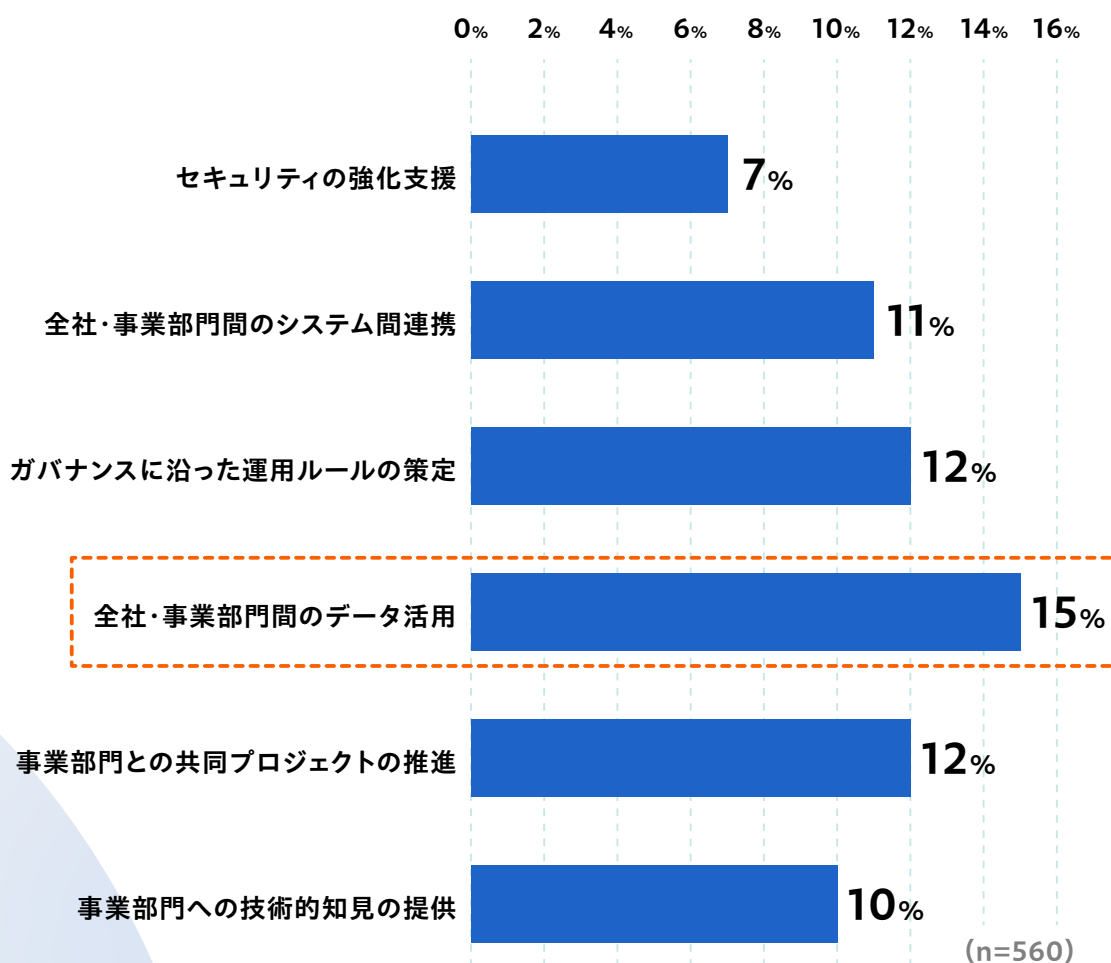


部門間連携の具体的な取り組みとして特にあてはまるものを3つまで選択してもらったところ、「セキュリティの強化支援」と回答した企業が50%と最も多く、次いでシステム間連携が41%であった。「全社・事業部門間のデータ活用」は34%で、システム間連携におけるデータ活用があまり進んでいない状況が示された。

2-2 「実際の取り組み」と 「必要性の認識」とのギャップ

必要と考えるが実施できていないのは
「データ活用」が最多

Q. IT部門と事業部門との連携状況について、あなたの会社で行っていない取り組みで、特に必要と感じているものにあてはまるものをひとつだけ選択してください。

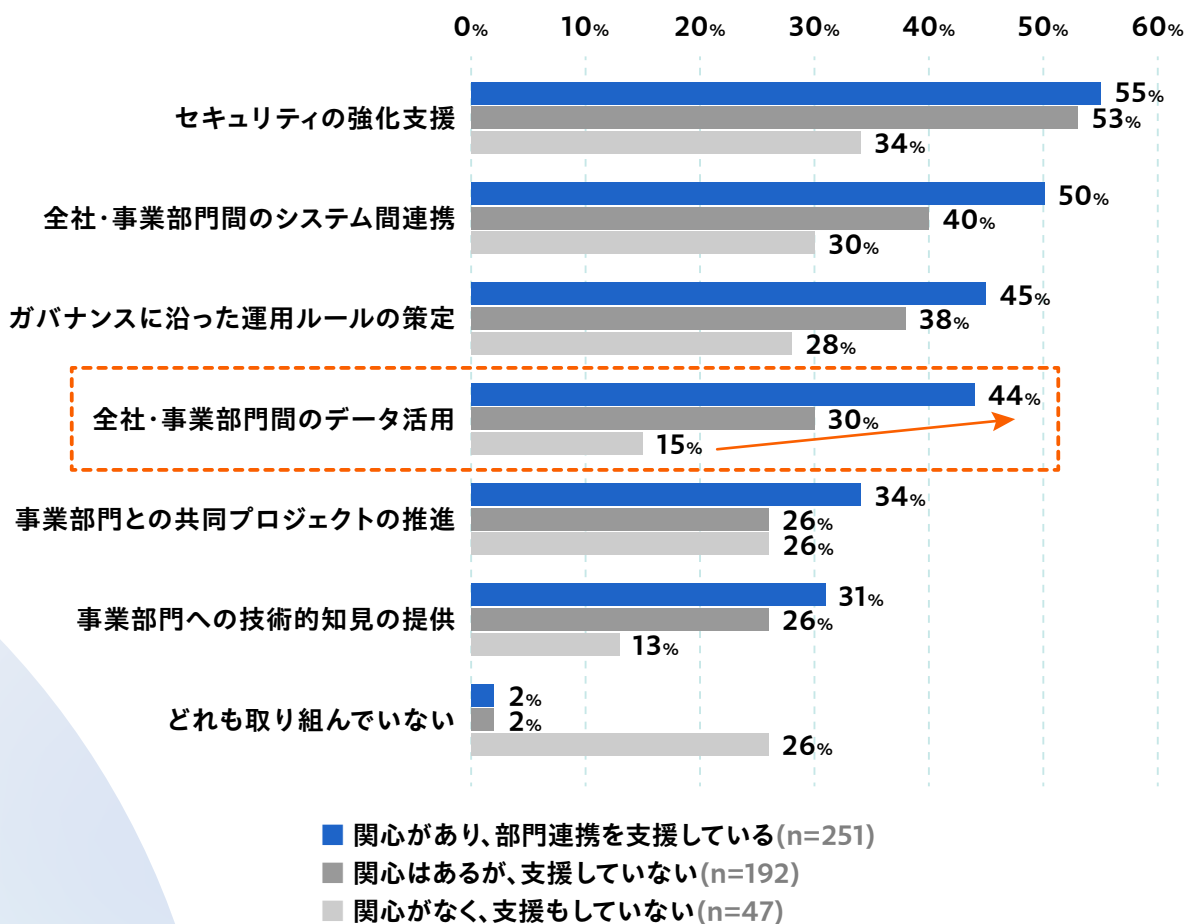


一方で、現状行っていないが特に必要と感じる取り組みを1つだけ回答者に選択してもらったところ、最も多かったのは「全社・事業部門間のデータ活用」の15%であった。

2-3 経営層の関与ごとの取り組み

データ活用は、経営層の関心と支援によって 取り組みの実施が最も左右される

- Q.** IT部門と事業部門との連携について、あなたの会社で行っている取り組みであてはまるものを選択してください。（最大3個まで選択できます。）
- Q.** 部門間連携に関する、経営層の姿勢はどのようなものかあてはまるものをひとつ選択してください。

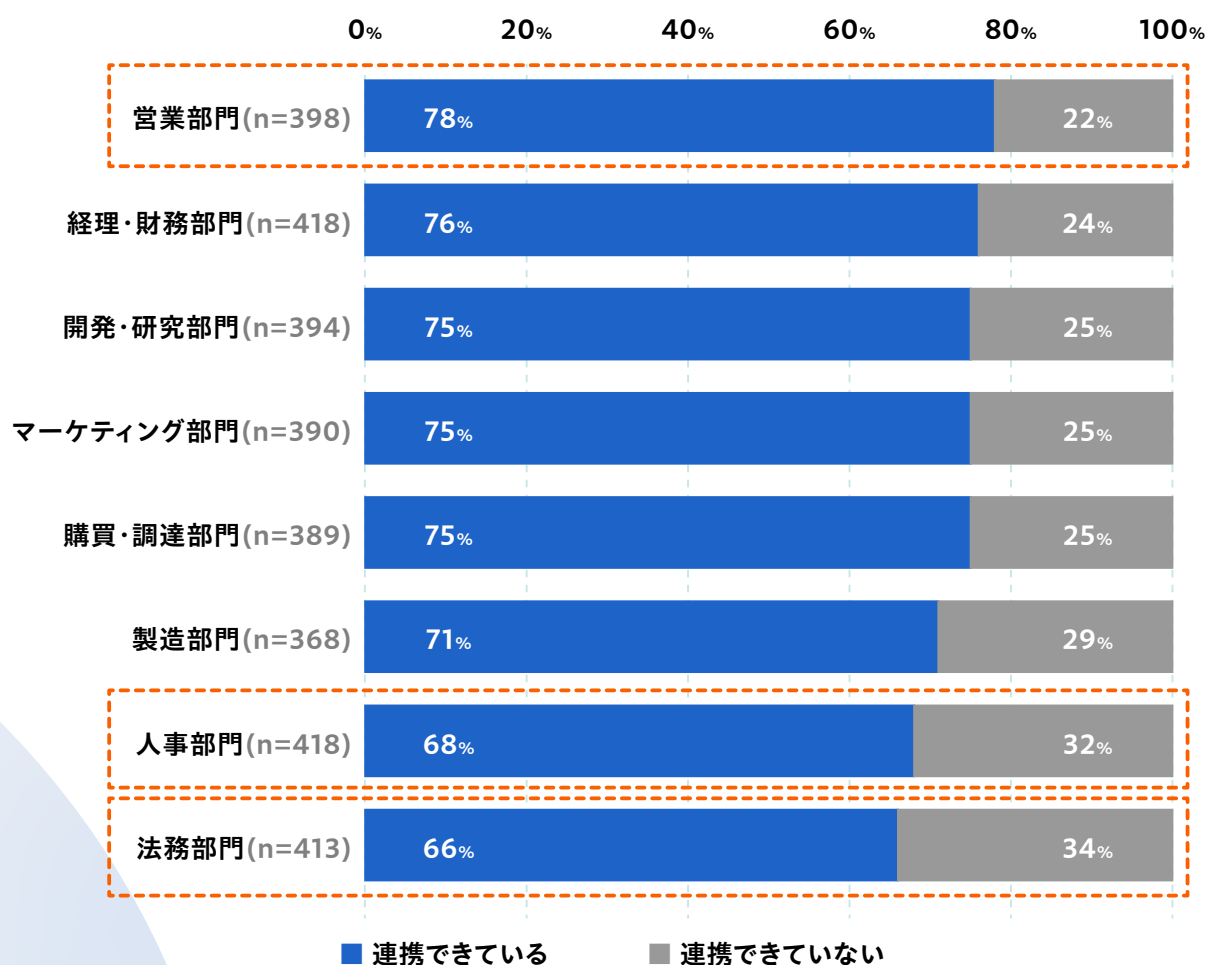


経営層が「部門間連携に関心あり・支援している」と回答した企業では44%が「データ活用に取り組んでいる」と回答。一方、「関心あり・支援なし」の企業のうち、「データ活用に取り組んでいる」の回答率は30%、「関心なし・支援なし」は15%に留まり、データ活用が経営層の関心と支援によって取り組みの実施が最も左右される結果となった。

2-4 部門別のIT部門との連携程度

「営業部門」が最も多く、最も少ないのは「法務部門」

Q. あなたの会社では、IT部門と他の部門とどの程度連携できていると思いますか。それぞれの部門ごとにあてはまるものをそれぞれひとつずつ選択してください。

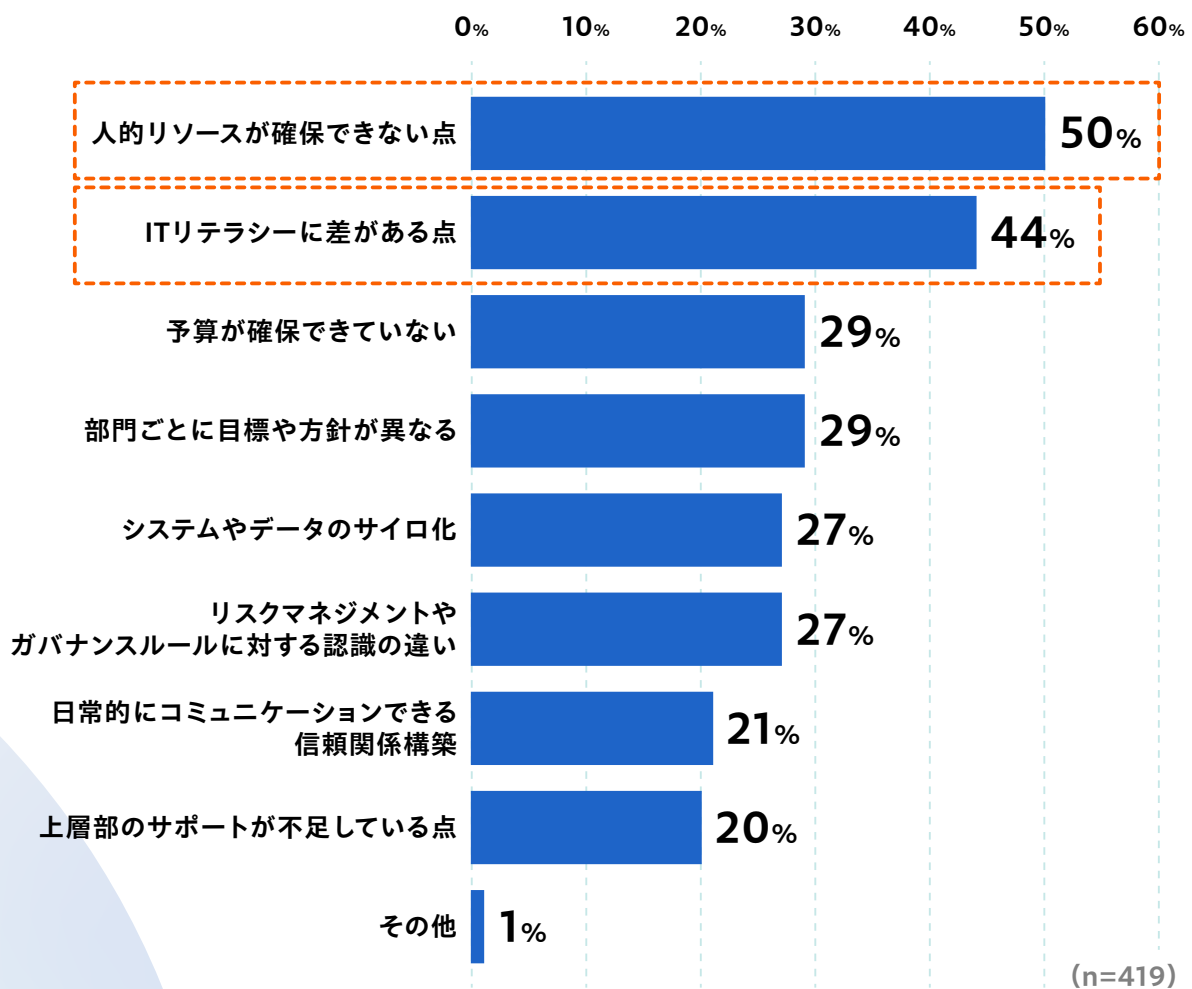


どの部門と連携ができているかを確認したところ、営業部門と「連携できている」と回答した企業が78%と最も多かった。逆に最も低かったのが「法務部門」で66%、1つ上が「人事部門」で68%という結果になった。

3-1 IT部門が感じている課題

人的リソース不足やITリテラシーの差といった 人的要因が上位を占める

Q. 部門間連携を進めるにあたって、どのような点を「大変」と感じていますか。
IT部門の視点からあてはまるものをすべて選択してください。

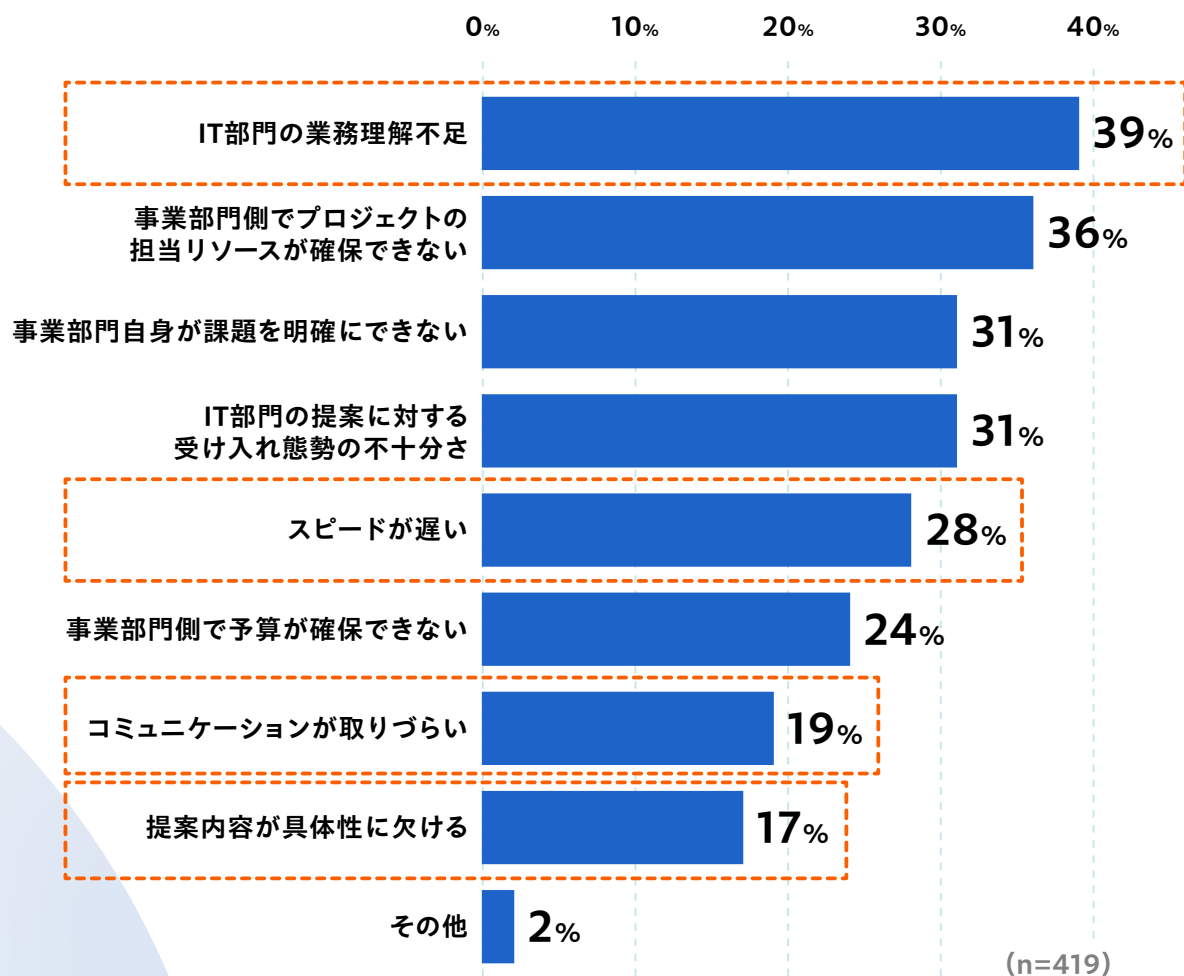


部門間連携における大変さでは、「人的リソースが確保できていない点」が最も多い50%、次いで「ITリテラシーに差がある点」の44%で、人的課題が上位に並ぶ結果となった。

3-2 IT部門が認識する 「事業部門側が感じている課題」

「業務理解不足」が最多

Q. 部門間連携を進めるにあたって、事業部門側が感じている課題が何か、IT部門側から感じることにあてはまるものをすべて選択してください。



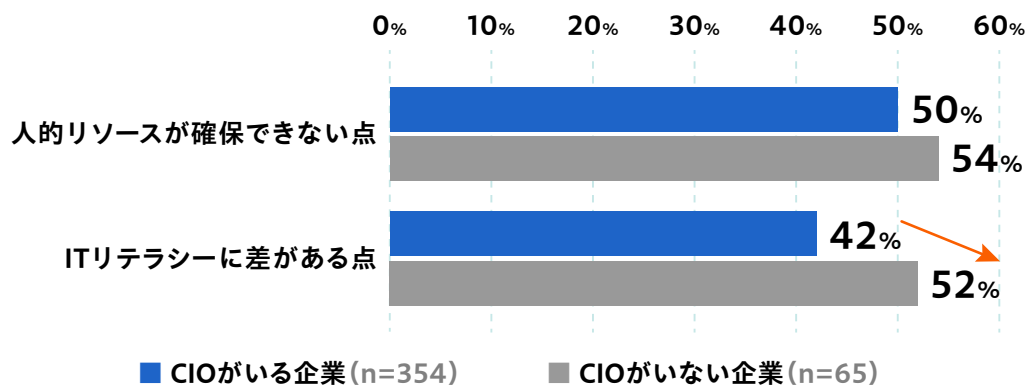
部門間連携を進めるにあたり、「事業部門が感じている課題」についてIT部門がどのように認識しているかを確認したところ、最も多かったのは「IT部門の業務理解不足」の39%であった。一方、IT部門側の「スピード」「コミュニケーション」「提案内容の具体性」といった課題は全体で見ると低い状況が示された。

3-3 CIO/CTO有無による課題の違い

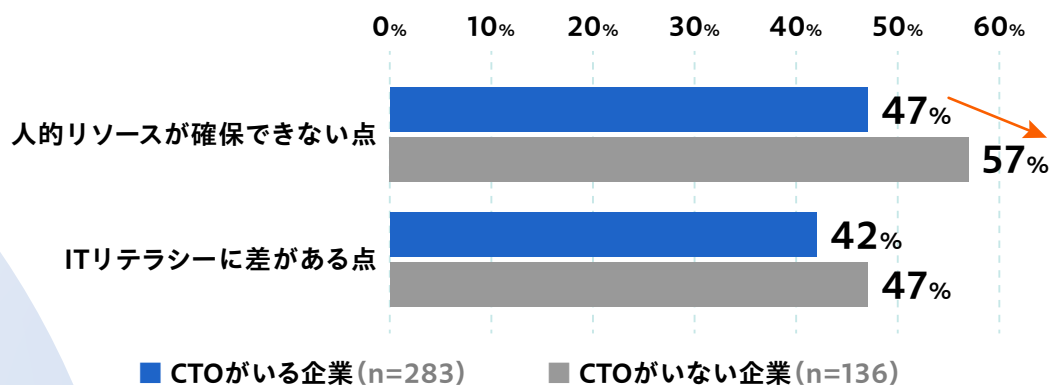
CIO/CTOが在籍する企業では、
人的課題の負担が低くなる傾向

Q. 部門間連携を進めるにあたって、どのような点を「大変」と感じていますか。
IT部門の視点からあてはまるものをすべて選択してください。

CIO有無別の部門間連携の大変さと人的課題



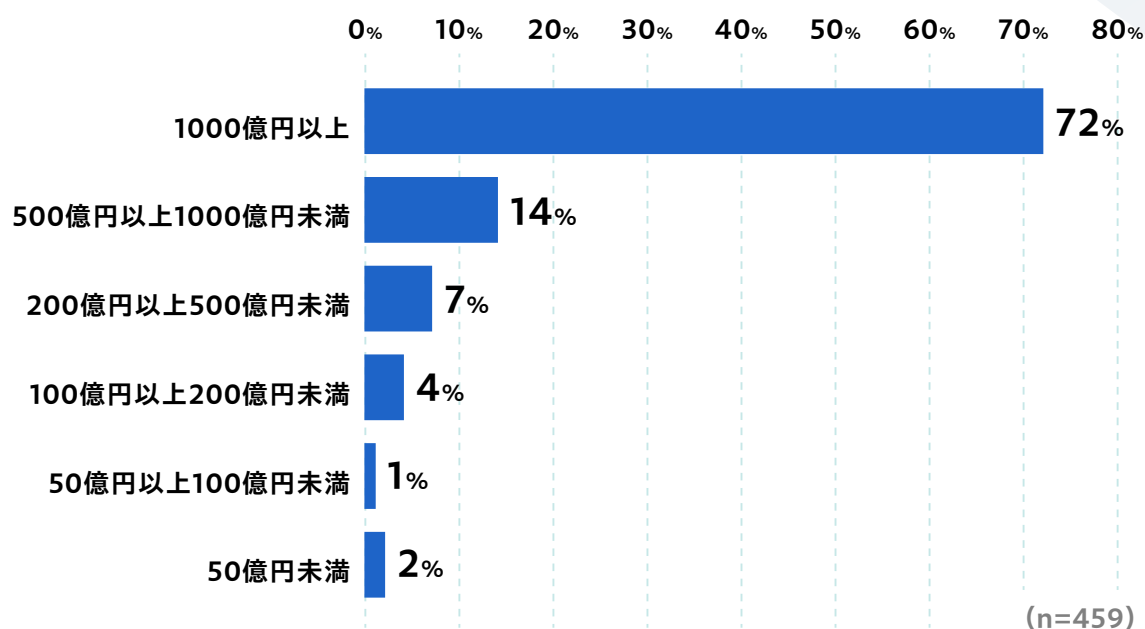
CTO有無別の部門間連携の大変さと人的課題



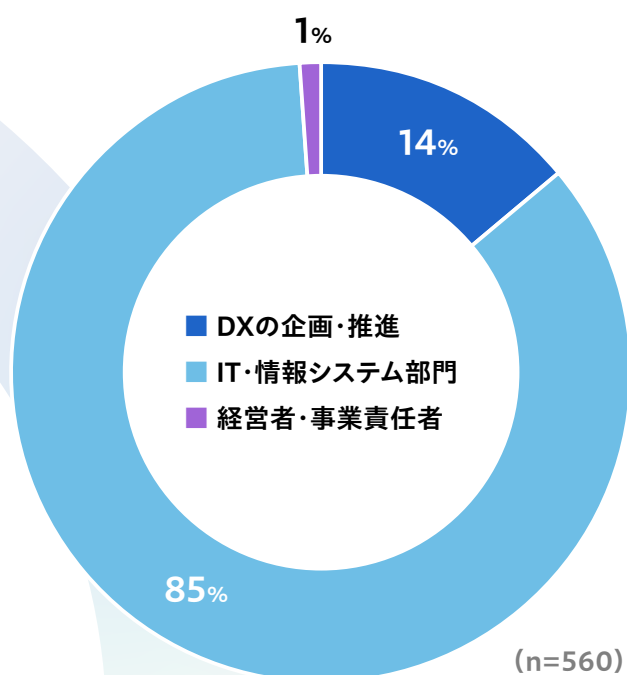
CIO/CTOが在籍する企業で、人的課題の負担が低いという傾向が示された。部門間連携の「大変さ」をCIO・CTOが在籍するか否かで回答率を比べたところ、回答率が高い「ITリテラシーに差がある点」については「CIOがいる企業」のほうが「CIOがいない企業」に比べ10pt低かった。同様に回答率が高い「人的リソースが確保できていない点」については「CTOがいる企業」のほうが「CTOがいない企業」に比べ10pt低かった。

回答者属性

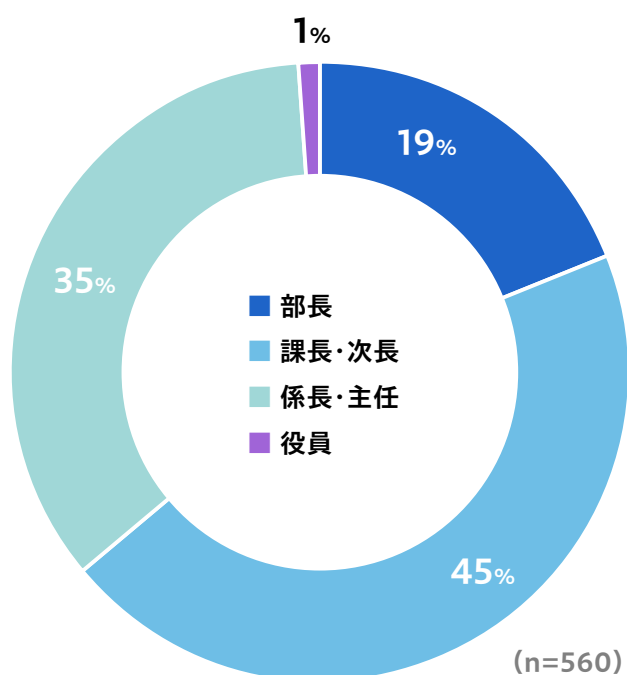
勤務先単体売上高（「わからない」除く）



所属・部署

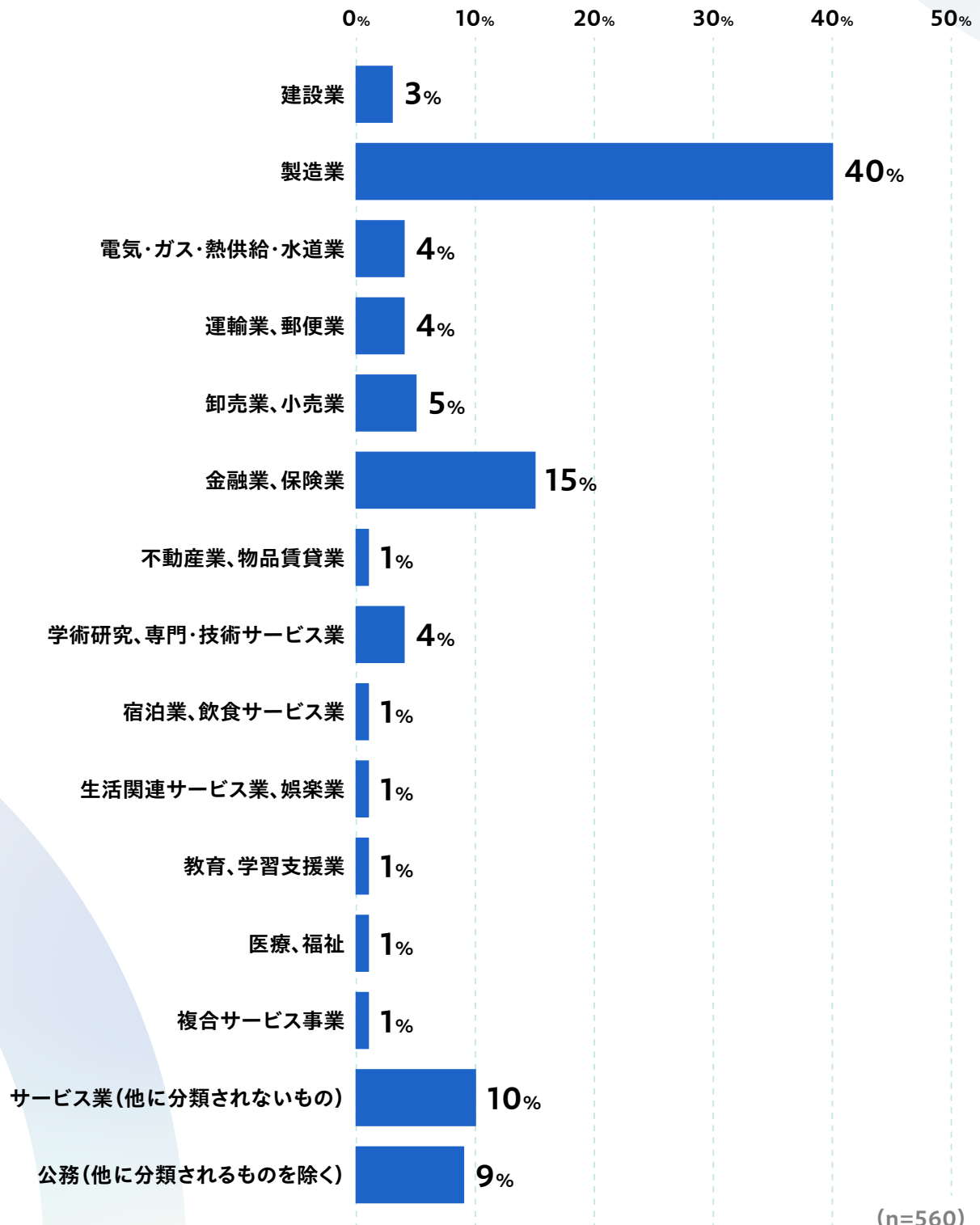


回答者役職



回答者属性

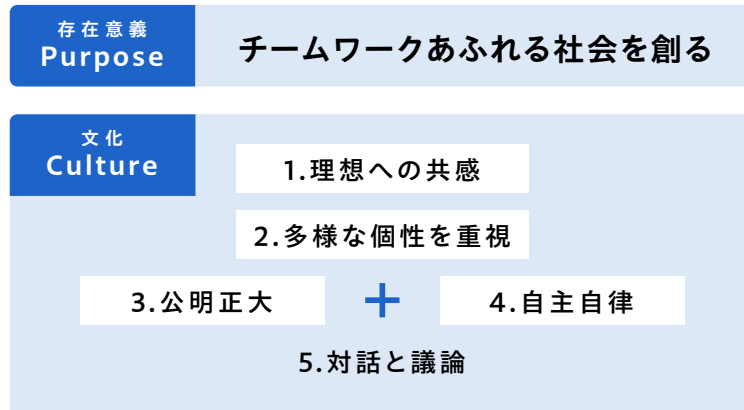
勤務先業種



(n=560)

サイボウズについて

サイボウズは、「チームワークあふれる社会を創る」という企業理念のもと、チームワークを支援するためのグループウェアを開発・提供しています。



IT Foresightについて

IT Foresight

URL | <https://cybozu.co.jp/it-foresight/>

急速な変化が続く経営環境のなか、テクノロジーを経営戦略と結びつけ、組織全体で実行する視点が求められています。こうした時代において、サイボウズが運営する「IT Foresight」では、先見的なテーマを調査や実践を通じて掘り下げ、企業変革のヒントとなる情報をお届けします。独自の分析や多角的な視点から、今後のビジネスに必要な課題解決や成長戦略を考えるうえで役立つ知識を発信します。

本レポートに対するお問い合わせ先

サイボウズ株式会社
エンタープライズ事業本部 エンタープライズプロモーション部
enterprise-info@cybozu.co.jp

大企業における IT部門と事業部門の 「部門間連携」実態調査

発刊日：2025年10月
調査・編集：サイボウズ株式会社
発行：サイボウズ株式会社

〒103-6027
東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー
URL | <https://cybozu.co.jp/>

本資料の無断での複写・複製（コピー等）、およびそれらの利用は著作権法の例外を除き、禁じられています。